

大阪府立千里青雲高等学校 平成30年度 第3回学校運営協議会 報告

- 日時 平成31年1月25日(金) 15:40~16:55
- 出席者 会長(学識経験者)、副会長(高大連携大学)、地域住民代表者、  
その他学校関係団体代表者  
事務局(校長、教頭、事務長、首席、教育部長、教務部長、進路指導部長、生徒指導部長)
- 内容
- 1 校長挨拶
  - 2 会長挨拶
  - 3 学校報告
    - ア) 学校協議会(学校運営協議会)への意見書の提出  
平成30年11月16日より平成31年1月24日まで なし
    - イ) 教育部 活動報告
    - ウ) 教務部 平成31年度教育課程報告等
    - エ) 進路指導部 10期生進路報告
    - オ) 生徒指導部 生徒指導状況報告
    - カ) 平成30年度学校経営計画及び学校評価(案)
    - キ) 平成31年度学校経営計画(案)
    - ク) 学校教育自己診断結果報告
  - 4 質疑応答・意見交換
  - 5 校長謝辞
  - 6 諸連絡
- 

<質疑応答・意見交換> ○は委員からのコメント ⇒は事務局のコメント

○学校経営計画の目標の中で、進学実績の指標として、国公立進学者数を入れておいた方がいいのではないかと考えている。

⇒現状では国公立進学者が少数であるので、少人数の数値変化を指標とすることは妥当ではないと考えている。

○大学生のボランティア活動と関わっているが、自主性が乏しいと感じることがある。体験によって、自尊心や自己肯定感を育むことは重要。地域と学校がうまく連携できればよいと思う。

⇒地域連携によって、主体的な学習機会が得られる。今後も地域との協力関係を維持したい。

○防災について学校経営計画で触れておいてはどうか？

⇒今後に向けて検討する。

○私立大学の合格実績を挙げているが、学校のアピールとしてはインパクトが少ない。総合学科の枠組みによって、どのような生徒を育てるのか、方向性を強く打ち出すことが必要では。

○豊中地域の人権関係行事の充実ぶりを感じている。人権研修で実施したテーマについて教えてほしい。

⇒子どもを前向きにさせるための大人のかかわりについて、PTAと教職員が合同で研修を受講し、たいへん好評であった。

○学校の努力が「見える化」できるとよいと思う。オープンスクールで実際に授業を見ると、学校に対する見方が変わる。

○地域と高校生が連携した防災プログラムなど、今後検討してもらいたい。

⇒前向きに考えたいので、今後も協力いただけるとありがたい。

○学校教育自己診断結果を見ると、例えば進路指導や学習指導に関する質問において、昨年度比で保護者の回答結果数値が上がっていないのに、生徒の数値は上がっているという状況がある。保護者と生徒の意識がずれている。その差を埋めるには、保護者が学校教育活動に関わるしかかけをたくさん作ることが有効。PTA・教職員が合同で研修に参加したことはよい取組みだった。保護者からの応援は、学校にとってプラスの力になる。

⇒保護者が学校の取組みに参加できる機会を増やすことを検討したい。

○新学習指導要領の先行実施として、来年度入学生から「総合的な探究の時間」が始まる。準備の状況はどうか？

⇒来年度から3年間の計画概要に基づき、新1年における実施内容を検討しているところ。詳細についてはこれから。